

公益財団法人 住友電工グループ社会貢献基金
事業報告書

(自2019年4月1日至2020年3月31日)

1. 事業の概要

(1) 2019年度の事業概況

第11期の2019年度は、事業として大学講座寄付7件、実施金額108,000千円と、奨学金支給181名、実施金額37,969千円余、学術・研究助成32件、実施金額30,900千円の、総額176,869千円余の助成事業を実施しました。

		実施金額
(イ) 大学講座寄付	7件	108,000千円
(ロ) 奨学金支給	181名	37,969千円余
(ハ) 学術・研究助成	32件	30,900千円
合 計		176,869千円余

(2) 2019年度収支決算

事業活動収支は、収入面では、寄付金収入として住友電気工業株式会社から172,867千円余(カフェテリアプランを通じた寄付金867千円余を含む)の寄付を受けました。これに基本財産運用収入18,769千円余を加え、収入合計は予算対比867千円余増の191,637千円余となりました。

一方、支出面では、事業費支出はほぼ当初計画通りに実施しましたが、国内学生向け奨学金において、奨学生が当初計画した20名から2名減となったこと、海外奨学金の為替変動による支出減などから、予算対比1,530千円余減の177,669千円余となりました。

管理費支出は、会計監査委託料が増加した一方、新型コロナウイルスの感染拡大により贈呈式典・交流会および奨学生交流会を中止したことから、旅費交通費、会議費が減少しました。管理費合計では予算対比1,399千円余減の15,585千円余となり、事業活動支出合計は予算対比2,929千円余減の193,255千円余となりました。

投資活動収支については、国債の満期償還による収入98,950千円を20年利付国債(利率0.3%、額面98,550千円、購入額98,917千円余)への再投資に充当した結果、投資活動収支差額は32千円余となりました。

以上の結果、当期収支差額は1,521千円余の赤字となり、前期繰越収支差額10,433千円余から差し引いた8,912千円余を次期に繰り越しました。

指定正味財産増減計算は、今期、基本財産の増減はなく、期末の指定正味財産は2,000,000千円で変動ございません。

(3) 2019年度事業

2019年3月18日開催の第49回理事会で決議・承認された事業計画に基づいて、次の大学講座寄付、奨学金支給、学術・研究助成を実施しました。

(イ) 大学講座寄付

エネルギー・新素材・情報技術（AI、IoT、ビッグデータ活用）・バイオテクノロジー・医療をはじめとする最新テクノロジー探求、地球温暖化・環境保全等現代の諸問題解決にむけた研究、ものづくりや起業家（アントレプレナー）をはじめとした次世代を担う人材の育成に取り組む、産業社会の発展に資する優れた大学講座に対し寄付を行うもので、継続案件6件に加え、新規の大学講座1件を選考し、合計7件、総額108,000千円の寄付を行いました。

大学名	講座名	金額（千円）
広島大学 大学院医系科学研究科	小胞体マイクロフラグメント解析による疾患病態の理解と臨床応用	20,000
北海道大学 大学院医学研究科	糖鎖生物学的アプローチによる各種疾患の病態解明とその臨床応用	18,000
山形大学	アジアの水・食・健康リスク講座	15,000
神戸大学 バイオシグナル総合研究センター	肝転移の早期診断が可能な新規がんバイオマーカー開発講座	15,000
筑波大学 生命環境系	ダークマター微生物資源利用・生物化学工学講座	5,000
愛媛大学 大学院理工学研究科	生態学的アプローチによる東南アジアの蚊媒介感染症の制御	15,000
信州大学* 医学部医学科	IoTを活用した心臓リハビリテーションのための在宅・遠隔型個別運動処方システムの開発	20,000
合 計		108,000

*新規案件

(ロ) 奨学金支給

日本で就学する外国人留学生、国内学生及び海外の大学に在学する現地学生のうち、学業並びに他の分野でも模範となるよう研鑽に努め、専門分野のみならず幅広い知識と見識を求め、大学・大学院においては科学技術分野を専攻する学生を対象として、2019年度は、選考の結果、下記の奨学生に対し、奨学金を支給しました。

国内大学の 外国人留学生 (10万円/月)	奨学生	実施額(千円)	実施時期		
	継続 東京大学1、京都大学1、大阪大学1、 東北大学1、名古屋大学1、一橋大学1、 東京工業大学1、慶應義塾大学1、 早稲田大学1	9名 8,300*	2019年4月～ 2020年3月		
	新規 東京大学1、京都大学1、大阪大学1、 東北大学1、名古屋大学1、一橋大学1、 東京工業大学1、慶應義塾大学1、 早稲田大学1	9名 10,800	2019年4月～ 2020年3月		
	計	18名 19,100			
国内大学の 国内学生 (3万円/月)	継続 東京大学1、東京工業大学1、静岡大学1、 早稲田大学1、慶應義塾大学1、東京理科大学1、 京都大学1、大阪大学1、神戸大学1、 名古屋大学1、広島大学1、九州大学1、 関西大学1、同志社大学1、立命館大学1	15名 5,400	2019年4月～ 2020年3月		
	新規 山形大学1、東北大学1、東京大学1、 東京工業大学1、静岡大学1、早稲田大学1、 慶應義塾大学1、東京理科大学1、京都大学1、 大阪大学1、神戸大学1、名古屋大学1、 広島大学1、岡山大学1、九州大学1、 関西大学1、同志社大学1、立命館大学1	18名 6,480	2019年4月～ 2020年3月		
	計	33名 11,880			
海外大学の 現地学生 (約5千円/月)	中国	蘇州大学	20名	992	2020年2月
		中山大学	10名	約461	2019年8月
		武漢理工大学	10名	約499	2019年12月
		上海外国語大学	10名	約483	2019年11月
	タイ	泰日工業大学	20名	約1,172	2019年8月
		キングモンクット 工科大学	20名	約1,285	2019年11月
	ベトナム	ハノイ工科大学	20名	約981	2020年2月
	メキシコ	アグアスカリエンテス 自治大学	10名	約558	2020年2月
		アグアスカリエンテス 工科大学	10名	約560	2020年2月
	計	130名	約6,990		
合計	181名	約37,970			

*9月卒業により4名が期中で支給終了

(ハ) 学術・研究助成

自然科学・工学や社会科学の先進的、独創的な研究、資源・エネルギーの確保、地球環境保護、世界人口の増加と水食料不足、長寿高齢化社会の到来、経済格差の拡大等、現代の重要課題の解決に向けたテーマを対象としています。

特に新素材開発、情報技術（AI、IoT、ビッグデータ活用）、ライフサイエンスをはじめとした産業のイノベーションが期待できる研究や、持続可能社会、循環型社会、省資源社会、超高度情報化社会の実現、長寿高齢化・介護社会の到来、経済のグローバル化などの社会ニーズに対応する研究に対し助成するもので、2019年度は、応募総数163件の中から選考の結果、32件、総額30,900千円の助成を行いました。

(氏名 50音順、敬称略、単位：千円)

氏名	所属	職位	研究テーマ	助成金額
秋廣 高志	島根大学	助教	AI画像認識システムを用いて植物の種を同定するシステムの構築	700
安坂 幸師	名古屋大学	講師	電界放出による一次元炭素単原子ワイヤの創生と構造および発光特性の解明	800
石川 大輔	首都大学東京	特任助教	金触媒内包DNAゲル粒子を用いた細胞様小胞反応場の構築	900
入枝 泰樹	信州大学	助教	農業であるメラニン合成阻害剤に耐性をもつ新奇な植物病原糸状菌の発見とその生態解析	600
大石 基	筑波大学	講師	酵素および装置フリーなDNAナノシステムによる感染症の「その場」診断法の開発	1,050
栗原 由加	神戸学院大学	准教授	グローバルネットワークによる参加型漢字学習の研究	1,250
小嶋 隆幸	東北大学	助教	貴金属フリー触媒開発へ向けたホイスラー合金の触媒メカニズム解明	1,250
坂本 良太	東京大学	助教	革新的ナノカーボン材料「単層グラフィジン」の精密合成とその半導体材料への応用	1,250
佐藤 和秀	名古屋大学	S-YLC特任助教	新規生体透視ナノイメージングを可能とする金属内包カーボンナノチューブ材料開発	1,150
嶋 直樹	産業技術総合研究所	主任研究員	タンパク質が酸素耐性を獲得するしくみの理解と新規な抗結核菌薬の開発	1,250
鈴木 祐麻	山口大学	准教授	逆浸透膜の欠陥を修復するための“ナノスケールバンドエイド”の開発	900
竹本 研	横浜市立大学	特任准教授	老化動物の脳機能回復を誘導する光学技術の開発と応用	1,150
辰巳 隆一	九州大学	准教授	加齢性筋萎縮の主要因のブレークスルー	1,050
田中 憲子	名古屋大学	准教授	若齢期から始める代謝性疾患リスク低減にむけた取り組み—学生アスリートに着目して—	1,150
谷口 耕治	東北大学	准教授	対称性を制御した有機・無機ハイブリッド化合物における光・スピン変換	1,250
戸村 崇	東京工業大学	助教	1対1固定無線通信用ミリ波帯空間多重伝送通信の理論的検討と実証	1,150
新苗 正和	山口大学	教授	メカノケミカル法による塩化鉛の不溶化メカニズム解明及び長期安定性に関する基礎研究	400
西村 高志	鈴鹿工業高等専門学校	准教授	新規半導体プロセスのための高電界/金属蒸着による表面融液エピタキシャル成長の制御	1,050
西村 勇也	熊本高等専門学校	准教授	住居内騒音暴露量軽減を目的とした換気性能を有する環境配慮型防音窓の開発	850
野出 孝一	佐賀大学	教授	可溶性Epoxide Hydrolase阻害による新規肺高血圧症の治療法の開発	900
秦 慎一	山陽小野田市立山口東京理科大学	助教	次世代環境発電材料のブレークスルー：ハイブリッド型有機熱電材料のキャリア制御	1,050
服部 梓	大阪大学	助教	ランダム動作性を内包したニッケル酸化物相変化ナノデバイスの開発	900
藤井 義久	三重大学	准教授	界面束縛鎖を用いた超潤滑表面の構築に向けたトランススケールアプローチ	800
藤原 宏平	東北大学	准教授	フェルミ準位制御による鉄スズ薄膜フレキシブル磁気センサーの特性向上	1,250
舟橋 正浩	香川大学	教授	バンドギャップを超える開放電圧を発生する液晶性強誘電太陽電池の開発	1,150
松崎 弘美	熊本県立大学	教授	生分解性を有する高性能バイオプラスチックの環境調和型合成法の開発	800
三田村 卓	北海道大学	助教	進行卵巣がんを克服した患者のPRR5遺伝子多型を再現したマウスモデルの確立	1,050
三宅 浩史	静岡大学	助教	超臨界CO2を用いた環境調和型MOFs製造プロセスの開拓	1,150
村尾 和哉	立命館大学	准教授	身体装着位置に応じて機能を適応的に変化させるためのデバイス自己位置推定手法	800
元垣内 敦司	三重大学	准教授	量子ドットと表面プラズモン共鳴を用いた白色発光体と白色レーザー照明への応用	750
山本 洋司	北九州工業高等専門学校	教授	省エネルギー、低コスト型粗製バイオエタノール改質法の確立	550
吉澤 俊介	物質・材料研究機構	主任研究員	表面原子層物質のキャッピング技術の開発	600

※研究者の所属・職位は、申請当時のもの

2. 役員・評議員（2020年3月31日現在）

(50音順)

役名	氏名	主たる職業
理事長	井上 治	住友電気工業株式会社 社長
常務理事	賀須井 良有	住友電気工業株式会社 専務取締役
理事	川井 文義	住友電装株式会社 代表取締役 執行役員社長
	西村 義明	住友理工株式会社 特別顧問
	松澤 佑次	一般財団法人住友病院 名誉院長
	吉川 弘之	国立研究開発法人科学技術振興機構 特別顧問
監事	高坂 敬三	色川法律事務所 弁護士
	小林 伸行	住友電気工業株式会社 常務取締役
評議員	小畑 英明	日新電機株式会社 代表取締役 会長
	坂崎 全男	住友電設株式会社 代表取締役社長
	新宮 壽人	株式会社テクノアソシエ 顧問
	西本 清一	公益財団法人京都高度技術研究所 理事長 地方独立行政法人京都市産業技術研究所 理事長
	松本 正義	住友電気工業株式会社 取締役会長
	三野 哲治	住友ゴム工業株式会社 相談役
	村田 治	関西学院大学 学長

3. 主要な事業経過

2019年	5月31日	第50回理事会開催（書面決議） <ul style="list-style-type: none">・第10期定時評議員会招集の件・第10期定時評議員会付議事項の件
	6月14日	第51回理事会開催 <ul style="list-style-type: none">・2018年度（第10期）事業報告及び計算書類等承認の件 第10期定時評議員会開催 <ul style="list-style-type: none">・理事4名選任の件・監事2名選任の件・定款一部変更の件 第52回理事会開催 <ul style="list-style-type: none">・役付役員選任の件・2019年度事業（奨学金支給）実施の件・2019年度選考委員選任の件
	6月29日	第10期臨時評議員会開催（書面決議） <ul style="list-style-type: none">・2018年度（第10期）事業報告及び計算書類等承認の件
	7月5日	第1回選考委員会開催 <ul style="list-style-type: none">・申請書類閲覧及び選考方法確認の件
	9月11日	第2回選考委員会開催 <ul style="list-style-type: none">・2019年度大学講座寄付先選考の件・2019年度学術・研究助成先選考の件
	10月21日	第53回理事会開催 <ul style="list-style-type: none">・2019年度 大学講座寄付の対象者並びに寄付金額決定の件・2019年度 学術・研究助成の対象者並びに助成金額決定の件・2020年度 国内学生向け奨学金（高専推薦）対象者決定の件
2020年	3月6日	第54回理事会 <ul style="list-style-type: none">・2020年度事業計画及び同収支予算承認の件・2020年度事業（奨学金支給）実施の件
	6月11日	第55回理事会開催（書面決議） <ul style="list-style-type: none">・2019年度（第11期）事業報告及び計算書類等承認の件・第11期定時評議員会招集の件・第11期定時評議員会付議事項の件・2020年度事業（奨学金支給）実施の件